令和４年度品川区成年後見制度地域連携ネットワーク交流会 開催報告

１　開催日時　　令和５年１月１３日（金）　　午前１０時００分～１２時００分

２　出席団体

　⑴　ＮＰＯ法人　市民後見人の会

　⑵　ＮＰＯ法人　東京市民後見サポートセンター

　⑶　ＮＰＯ法人　フレンド

　⑷　ＮＰＯ法人　ライフサポート東京

　⑸　公益社団法人　成年後見センター・リーガルサポート東京支部

　⑹　公益社団法人　東京社会福祉士会　権利擁護センターぱあとなあ東京

　⑺　東京弁護士会

　⑻　第二東京弁護士会

　⑼　社会福祉法人　品川区社会福祉協議会

　　　（事務局：品川区）

３　内容

1. 各団体の課題について

〇　団体Ａ

・被後見人が施設入所すると遠方支援が多くなる。転居先の後見人に変更できると良い。

・担当者が疲れてしまう（夜間対応など）。辞めてしまう。

・市民後見人は安価という認識では今後成り立たない。

〇　団体Ｂ

・メンバー人数の維持が難しい（年齢を重ねると辞めていく）。

〇　団体Ｃ

・件数が多いので事務局機能の強化が必要。

・後見報酬額が少なくなってきているため、組織運営が難しくなっている。

〇　団体Ｄ

・不動産登記等他業務との兼ね合いが難しい。

・後見業務を行っている司法書士が少ない。担い手の確保が必要。

・担い手が少ないため受任件数が増える。そのため身上保護が不十分になりがち。

・意思決定支援の充実のため、保佐、補助、任意後見に力を入れていく必要あり。

1. 品川区における課題等について

〇　団体Ｅ

・この交流会を2か月に１回くらい定期開催し、意見交換できると良い。

〇　団体Ｆ

・受任調整を行う会議等に専門職団体が関わり、候補者の適格性等について助言などできる場があると良い。

・市民後見人を含めた後見人等の支援について、専門職団体が協力して取り組むことができると良い。

・マッチングのミスマッチが課題になっている。ケース検討に多様な方々が入ると良い。